

大阪府立茨木支援学校 令和2年度第2回学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和2年12月21日（書面にて審議） |
| 参加者 | <協議会委員> 6名 <茨木支援学校> 校長 准校長 事務長 教頭2名 指導教諭 教務部長 首席3名 部主事3名 |

○意見書について

令和2年11月25日の時点ではなし

○議案へのご意見

1. 【令和2年度 学校経営計画進捗状況について】

1. 「安全安心な環境の中で、子どもたちがよりよく生きる意欲（自己肯定感）を育む場となる」について

- ・評価指標に照らして概ね順調に進行しているように思う。特に休校期間中に ICT 機器の研修を25回も行われたことは、これからのコロナ環境化では、大いに役立つものと考えます。
- ・ビデオ視聴による研修会の実施など工夫をいただいていることを感謝いたします。

2. 「保護者が安心して子どもの教育を委ねることができる場となる」について

- ・個人情報保護の観点、保護者・地域の信頼構築向上には欠かせないものである。そのため情報漏洩を防ぐため、今一度 USB メモリー等の取り扱い管理には、定期的にチェックする体制が必要である。
- ・リモート授業の子ども達の反応について又ご報告いただければありがたいです。

3. 「障がい理解推進校として、地域の支援教育に関する中心的役割を担う場となる」について

- ・多くの外部との交流は、開かれた学校づくりを進める上で、大きな教育的成果が期待される取り組みだと思います。そのためにも、まずは支援学校から発信を増やし、新たな外部人材の発掘につながればと思います。

4. 個々のニーズと障がい特性に応じた社会的自立に向けて、小中高と一本筋の通ったキャリア教育の場となる

- ・今でもキャリア教育というと高等部の教育というような肥えた方が少なからずあるように感じているが、本目標のように小・中からの積み重ねにあるということを全教職員が共通理解することが前提だと思う。

・現場実習のご実施については、今年度難しい点も多いと思いますが、子ども達のためよろしく願いいたします。

5. 教育公務員としての高い倫理観と障がい特性に合わせた柔軟な指導力とチーム力を養う場となる

- ・教育公務員としての自覚・姿勢・行動・使命感は常日頃から再確認できる機会が必要であるとする。
- ・コロナ過でより煩雑、多忙な毎日を過ごされていることと思います。
障害の特性に合わせた指導と子どもたちの自己肯定感を育む場となるようにより柔軟な指導力とチーム力をもって乗り切ってください。
個々の障害への理解と柔軟な指導が大切だと思います。
- ・肢体・知的障がいへの正しい知識・理解・最新の知見を得るための校内研修の実施及び計画ありがとうございます。これからも継続をどうぞよろしくお願い致します。
- ・障がいの正しい知識・理解は大事ですが、それ以外にも感情的ではない効果的な指導方法の取得ができる研修もお願い致します。
- ・診断名が同じでも顔が違うように子どもたちの個々の個性・特性の大小・緊張の度合いなどの違いがあり、言葉かけ一つ違ってきます。目が悪い人に眼鏡を処方しますが、度が違うとせっかくの眼鏡の効果無いのと同じではないでしょうか。
- ・研修も一度きりだけでは応用が利きません。ぜひ先生方の指導方法の引き出しが増え、応用が利く研修を受けていただけるようお願い致します。

《学校より》

令和2年度の学校経営計画について貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。本校の学校経営計画の冒頭部分は国連加盟国（193国）が採択をした「SDGs(持続可能な開発目標)の目標4に準じ、その内容をめざす学校像として掲げています。すべての子どもではなく、すべての人としたことにつきましては、本校の児童生徒はもちろん、その保護者様、教職員そして地域で支援を必要とする方々等「すべての人」を取り残さない、そして自分らしく生きられるよう支援する。そんな学校をめざす意味を込めています。」こうした目標に向け、児童生徒の学校生活がより安全で安心なものとし、これからの新しい生活様式の中で、より充実した学習活動に努めて参ります。

第3回の学校運営協議会にて、今年度の取組に対する評価及び令和3年度の学校経営計画についてご報告いたしますので、委員のみなさまの忌憚なきご意見、ご指導をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

《 子どもの学びについて 》

休校期間に電子黒板やタブレットなど機器の活用に関する情報研修の実施や、校内のICT機器の整備、リモートによる授業の試行など、子どもの学びをとめることのないよう、取組みを進めています。

《個人情報管理について》今年度より個人情報保護検討会議を立ち上げ、規定やガイドライン、マニュアルの整理を行い誤配付等がないように取り組んでいます。USB の扱いや保護者からお預かりした個人情報についてもマニュアルに基づくルールの徹底を周知し、個人情報の管理体制の改善に取り組んでいます。また、個人情報がその子どもと同等であること、マニュアルや取り決めに遵守することが、子どもの人権を守ることに繋がることについて高い意識をもって個人情報の管理を行うよう取り組んでいます。

《地域交流について》

新型コロナウイルス感染症対策のため、計画通りの実施はとなりませんでした。交流校とともに今できる取組（ビデオレターや手紙を用いた交流）などについて検討し、実施しました。

《職員の研修について》

今年度は、大阪府教育センターと連携し「教科指導で今つけたい力～深い学びのカギ（教科ならではの見方・考え方）を使って～」をテーマに研究部、授業者、指導主事（教育センター）、指導教諭等でチームを作り、「授業づくり研修」の実施を行いました。子どもの実態に合わせての課題設定や指導方法について、相談しながら授業を作りこんでいく実践に取り組んでいます。今後継続したものとし、より充実した研修としていきたいと考えています。

2. 【令和2年度授業アンケートについて】

- ・回収数は大幅に減少しているが、分析にあるように、それは本年度の特殊事情によるものとする。ただそうは言っても、今後も回収率100%を目指すことは当然なことである。
- ・自己記述欄で、保護者の否定的な意見を発表されたしんどさを理解し、皆で共通理解し、真摯に対応しようとされている。素晴らしいことだと思う。
- ・厳しい状況下での授業アンケートの実施をありがとうございました。いただいたご意見より、先生方の授業の工夫を保護者様がよく捉えて下さっていると思いました。
- ・コロナ禍で回収数が少ない中、小学部・高等部とも高評価ではありましたが、中学部には「思わない」「あまり思わない」の評価がありました。この結果は残念です。なぜそう思われたのか、どうすればよいのか、ぜひ高評価に転ずるように改善をお願い致します。
- ・生徒一人一人の実態にあった授業は教師、保護者、生徒が願うところです。できるだけ温度差が少なくなるように柔軟な指導が充実した学校生活へと連がると思います。
- ・個人的に授業内容というより、傍らにいる先生の子どもの支援方法が違っているように感じる（子どもを見ていない）、適切でないように見受けられることがあります。

《学校より》

保護者より自由記述を通じて授業改善に向けた貴重なご意見を頂いています。
今年度は組織的な授業改善の取組みとして初任者へのフォロー体制を見直し指導教諭が常に授業に入ることができる体制をとり、授業作りへの指導や、TTにおける役割・主担者の意図の把握などについて相談ができる取組みを進めています。
また、大阪府教育センターと連携し、「パッケージ研修支援」事業の活用として「教科指導で今つきたい力」をテーマとした授業改善プログラムを実施しています。こうした取組を通じて、より充実した授業作りに取り組んでいきます。

3. 【令和2年度学校自己診断アンケートについて】

- ・生徒用項目1に含まれているかと思うが、もっとストレートに“授業が楽しい”とか“友だちがいる”とかいうような表現が良いのではと思います。
- ・昨年度からの変更点については、その理由を記述してほしいです。
今年度の状況にアンケート項目の内容が対応していないとも感じます。

《学校より》

教育庁より指示がある「学校教育自己診断実施上の留意点」の内容に基づき、例文を参考にアンケート項目を設定しています。診断項目の中に、保護者に対するもの9項目、児童生徒に対するもの8項目、教職員に対するもの9項目が設定されており、年度末に「学校運営にかかる実施状況調査」でその結果を集約し、報告することになっています。今年度は指示されたアンケート項目順になるよう並べ替え、指示された内容がすべて網羅されるよう、アンケート内容を整理しました。その結果、一部文言の変更や差し替えとなっています。(昨年度まで、指示項目に全てのアンケート内容が一致していませんでした)
また、アンケートの表現や、今年度の状況に対応していない項目(学校行事に関する項目)があったことについては、ご指摘の通り、より良い質問内容となるよう工夫が必要であったと考えています。次年度への課題とさせていただきます。

4. 【令和3年度使用教科書について】

- ・「教科書について」読みますと、その選定方法等よくわかりました。
- ・先生方にとっては例年のことですが、児童生徒・保護者にとっては、新しい教科書はわくわくするものだと思います。先生がたが十二分に検討された結果であるので、期待されるものだと思います。新入生についてはその実態把握は難しいことと思いますが、在校生について説明にある通り、丁寧な引継ぎをお願いします。
- ・教科書展示会がまた再開されましたら、その機会を有効活用していただけたらと思います。
- ・子どもの発達の段階や障がいの状況に応じた、又、系統だった指導のための教科書選定

をいただき、大変ありがとうございました。

5. 【本校の新型コロナ対策について】

- ・突然の臨時休校に際しては、学校として、その休校期間を有意義な期間とし、多くの取り組みをされたことに、まず敬意を表します。
- ・説明にあるように、その取り組みを通してまた課題も見えてきました。学校だけでできること、保護者の協力が必要なこと、また府教委に依頼・相談すべきこと等多岐に渡りますが、まずは学校の主体である校長先生を含め教職員全員・関係職員の健康安全の再確認です。そのうえで児童生徒の指導に当たっていただければと思います。
- ・今まで以上の感染症対策が必要な状況です。緊張感も大変なものだと思います。そうした中でも子どもたちの教育は止まることは出来ません。全教職員がチーム茨木として一丸となって児童生徒のために奮闘されることを期待しています。
- ・感染症対応マニュアル更新版よく出来た冊子だと思います。ただ情報量が多すぎて、“感染者・濃厚接触者が確認された場合”の学校での対応については、校長以下教職員それぞれの立場の仕事の中身や流れをチャート化し、教職員全員が共通理解できればと思います。
- ・大阪モデルのステージがレッドとなった今、先んじてこのようなマニュアルを作成していただいたことに、感謝いたします。
- ・児童生徒同士の活動が大幅に制限されている中で、学習活動をすすめていただくのは大変なことだと思います。子どもも先生方も、どうか安全、安心ですごしていただけることを願っております。
- ・今年度は、4月の緊急事態宣言に伴う臨時休校から始まり、今現在もレッドステージで出口が見えない状態だと思います。
感染を広げない取り組みも日々大変だと思いますが、ますますの感染防止対策の取り組みを宜しく願います。一日も早く昨年までの通常の学校に戻ることを願います。
- ・感染防止対策を実行し、意識を強くもって静まるのをじっと待つのみです。
- ・校内から感染者がまだ出ることなく学校生活を送れているのは、先生方が感染予防対策をしっかり行ってくださっているおかげです。ありがとうございます。
スクールサポートスタッフのお力も借りて、校内消毒作業等にも力を入れてくださっているのも、毎年のインフルエンザ感染者発生もインフルエンザ流行もせずに済んでいます。しかし、保護者の多くは報道から感染対策について情報を得ることが多く、教育省からの通達ではOKである事でも、保護者からしてみればアウトの事もあり、温度差があるように思います。
特に普通課程の保護者の多くは先生方の感染予防対策への取組などを見て信頼はしているものの、細かなところで不安に思っている事があります。

感染対策の取組を保護者に文章で知らせて下さる以外にも、実際に保護者が目にするところでも気を付けていただけるとありがたいです（特にマスクの件）
（常にマスクをつけ続けろという事では無く、必要な所と不要な所をしっかりと分けて、実行していただきたいです）

《学校より》

- ・大阪モデルのレッドステージ移行に合わせ、『レッドステージにおける教育活動と感染症対策について』の表を再作成し、感染リスクの高い活動を控えています。
- ・現在は通常形態での教育活動を継続しつつ、改めて昨年5～6月頃の学校再開時と同等の危機感と緊張感をもって、感染症対策の徹底に取り組んでいます。
- ・飲食を伴う場面においては、基本的な感染症対策に加え、座席配置の工夫、会話など最小限に留めるなどの対策を講じています。
- ・衛生物品の正しい使い方については、教職員は原則マスクを着用とし、マスクは鼻と口の両方を覆う・マウスシールドやフェイスシールドは、教育活動の中で、表情や口の動きを見せることが必要な場合に十分な身体的距離を取り、必要最小限の活用としています。
- ・感染症対策として、校舎全域の消毒作業の分担や実施時間帯を決め、放課後に授業で使用した教材、物品、教室も含め、次亜塩素酸ナトリウム+水ぶき、もしくは、アルコール消毒を全教職員で毎日行っています。
- ・また、スクールサポートスタッフを活用することで、教職員の負担軽減につながっています。

6. 【その他】

- ・2学期の小学部等小・中・高の取り組みがよくわかりました。保護者には、連絡帳等を含め、もっと細かくタイムリーに情報提供されていることと思います。児童生徒の安全確保をしながら先生方ができる活動を普段通り行おうとされていることがよくわかりました。
- ・今まで通り教職員一丸となって茨木支援学校をよろしく願いします。
- ・各学部の様子をお知らせ下さりありがとうございました。小学部、高等部の修学旅行の報告にも大変嬉しかったです。中学部の修学旅行もご無事に実施いただいたであろうと祈っております。ありがとうございました。
- ・各学部の様子をお知らせ下さりありがとうございました。小学部、高等部の修学旅行の報告にも大変嬉しかったです。中学部の修学旅行もご無事に実施いただいたであろうと祈っております。ありがとうございました。
- ・例年校内でもインフルエンザが流行していましたが、今回の感染予防対策のおかげで

今のところ感染者の発生もありません。コロナ感染が終息したのちも、ぜひ感染対策を続けていただきたいと思います。

- ・現状の感染対策は大変なので、手洗い・マスク・下校後の教室内机とドアの引手等の消毒だけでも感染率は下がると思います。

【配布資料一覧】

- ① 次第
- ② 学校運営協議会実施要項（改定版）
- ③ 学校運営協議会運営計画
- ④ 令和2年度学校経営計画（進捗状況記載）
- ⑤ 授業アンケートの実施について
- ⑥ 学校教育自己診断アンケートの概要
- ⑦ 令和3年度の使用教科書について
- ⑧ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について（マニュアル等）
- ⑨ 学校再開後の様子（各学部より）

【第3回学校運営協議会の実施予定日】

日 時：令和2年1月27日（水）10：00より

場 所：本校 会議室